

こんなに採れる！

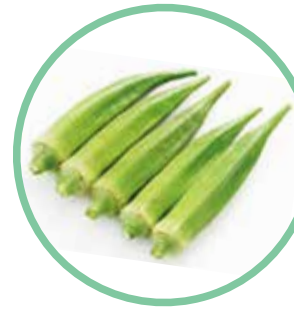
柳川の農作物



アスパラガス
出荷時期 1月～10月

こんなに採れる

グリーン色が濃いのが特徴。年間の出荷量は県内でトップクラス



オクラ 出荷時期 6月～10月

こんなに採れる

年間135トンと県内トップの出荷量を誇る



イチジク 出荷時期 8月～11月

ココが치가う

食物繊維やミネラルが豊富で、栄養価が高いフルーツ。加工品も人気



イチゴ 出荷時期 11月～5月

ココが치가う

福岡県産ブランド品種「あまおう」。甘みと酸味のバランスが良い



レタス 出荷時期 11月～5月

ココが치가う

特殊施設機械を使って栽培することで、他の産地よりも日持ちが良い

ブドウ 出荷時期 8月～9月

ココが치가う

干拓で潮風を受けて育った「巨峰」は通常よりも糖度が高い。観光農園では収穫体験も



ニラ 出荷時期 通年

ココが치가う

朝採りしているため、みずみずしいのが特徴



ナス 出荷時期 9月～7月

こんなに採れる

収穫量はみやま市、八女市に次いで県内3位の2111トン



ヒシ 出荷時期 9月～10月

ココが치가う

栗に似た味。カルシウムやビタミン、ポリフェノールなどの栄養が豊富



トマト 出荷時期 12月～7月

ココが치가う

品種は「桃太郎」。甘みと酸味のバランスがとれていて、皮が薄い



特集

柳川の農業を再発見

柳川市といえば川下りやうなぎのせいろ蒸しといった観光面に注目が集まりがちですが、一方で、米や麦、大豆に加え、ナスやイチゴ、アスパラガスなど1年を通して市内のいたるところで農作物が栽培がされている県内有数の農産地でもあります。柳川の農業の魅力を再発見するために、柳川で育った農作物の特徴や生産者の思いを紹介します。

高く評価されている柳川の農業
柳川市は、観光面が有名な一方で、干拓による広大な農地を利用した農業が盛んです。市内の総面積のうち、約半分の41平方キロメートルは耕作地。九州の穀倉地帯の一角を占めていて、昔から米や麦の栽培が盛んです。令和元年の調査では、小麦と大豆、オクラの生産量が県内1位。また、県の特産品「あまおう」や干拓地の特徴を生かしたブドウは、どちらも甘みが強く、ふるさと納税で人気の商品です。柳川で生産された農作物は、関東や関西を中心に出荷され、その品質や生産量の多さは高く評価されています。左のページに柳川で栽培されている農作物と出荷時期を掲載しています。ぜひ柳川で採れた旬の農作物を味わってみてください。

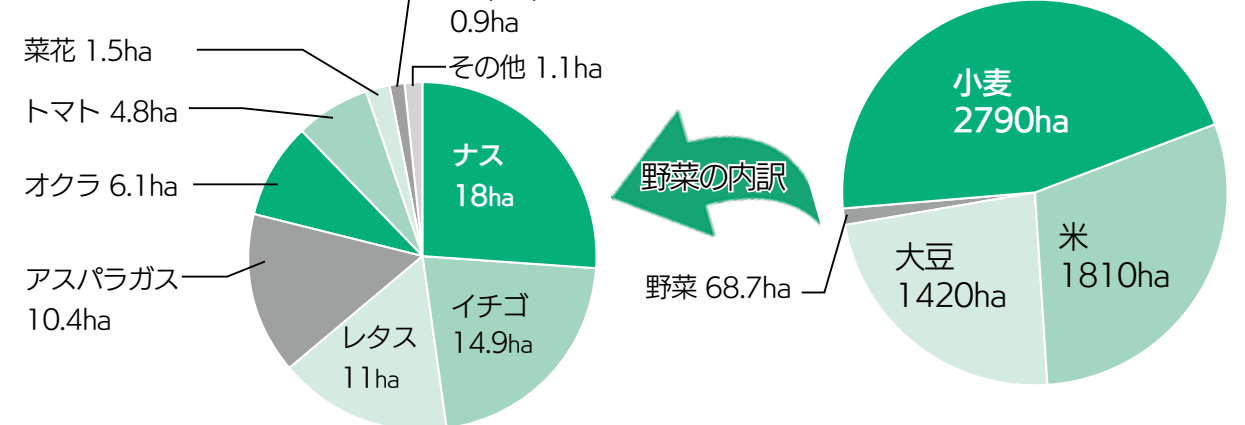
数字で見る柳川の農業

市内の耕作地では、作付面積のほとんどを小麦や大豆、米などの穀物が占めています。県内の収穫量ランキングでも、小麦と大豆が首位。野菜は作付面積が少ないにも関わらず、オクラやナスは県内トップクラスの収穫量です。

県内の農産物収穫量ランキング

米	1位 久留米市	小麦	1位 柳川市
2位 柳川市	2位 久留米市	2位 久留米市	2位 久留米市
3位 糸島市	3位 筑前町	3位 筑前町	3位 筑前町
大豆	1位 柳川市	オクラ	1位 柳川市
2位 筑前町	2位 久留米市	2位 久留米市	2位 久留米市
3位 久留米市	3位 北九州市	3位 北九州市	3位 北九州市

市内の農作物作付面積



出典：令和元年産福岡県農業統計（野菜）調査、第67次九州農林水産統計年報（令和元年～2年）

